

◎ 木工の考古学 ◎ 目次

本書の内容について	1
I 木工技術の発達	3
1 製作工程の確立	4
(1) 伐採	5
(2) 製材	12
2 加工技術の発達	21
(1) 縄文時代の容器類未製品と製作技術	21
(2) 縄文時代の容器類の製作工程	28
(3) 弥生時代から古墳時代の農具・容器・食事具の製作	32
(4) 未製品の水漬けについて	47
II 木工諸技術の発達過程	88
1 刳物	88
(1) 縄文時代の丸木舟	89
(2) 弥生時代の大型刳物	93
(3) 弥生時代の容器類の精巧品	96
(4) 古墳時代の木棺	107
2 指物	108
3 彫刻	119
(1) 縄文時代の彫刻	119
(2) 弥生時代の彫刻	123
4 曲物	126
5 挽物	130
(1) 挽物技術を巡る研究史	130
(2) 木工轆轤と工具	134
(3) 製作工程と未製品	135
(4) 轆轤技術の発達	142

Ⅲ 工房の成立	144
1 工房誕生のプロセス	146
(1) 縄文時代	146
(2) 弥生時代	147
(3) 古墳時代	152
2 古代の工房	156
(1) 官営工房	156
(2) 東日本の官営の木器工房	159
(3) 家産工房	169
まとめ	171
Ⅳ 終章	172
あとがき	177
引用文献	181
遺跡文献	191
出典・提供一覧	197
遺跡名索引	203